

# VLT15 壁掛け金具 取扱説明書

----- 重量 68kg 以下の薄型テレビの取り付けに適用 -----

この度は、VLT15 の壁掛け金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
VLT15 は、37V 型～65V 型の薄型テレビの取付用です。又視野角を +0 度-10 度の調整が可能です。  
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。  
お読みになったあとは大切に保存してください。

## お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

## 販売店様・工事業者様へ


フラットテレビの取り付けには特別の技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。  
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。

## 1. 安全上のご注意


お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。

 **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)

 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)

 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

## 警告



工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。  
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。  
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。  
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。  
壁の強度は少なくともフラットテレビの重量の5倍の強度に耐える場所が必要です。

## 警告



禁止

VLT15 壁掛け金具は、総重量 68kg 以下のプラズマ及び液晶等の薄型テレビを、木柱の壁面、又はコンクリート壁面に固定するためのものです。

68kg 以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。  
この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。



湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。  
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。  
テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因となります。



禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。  
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。  
指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は 2 人以上で行って下さい。  
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、子供のそばにこのような部品を置かないで下さい。  
又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですから子供を側に近づけないで下さい。



取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。  
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損していないことを確認してください。  
足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン株式会社に連絡して下さい。  
破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。



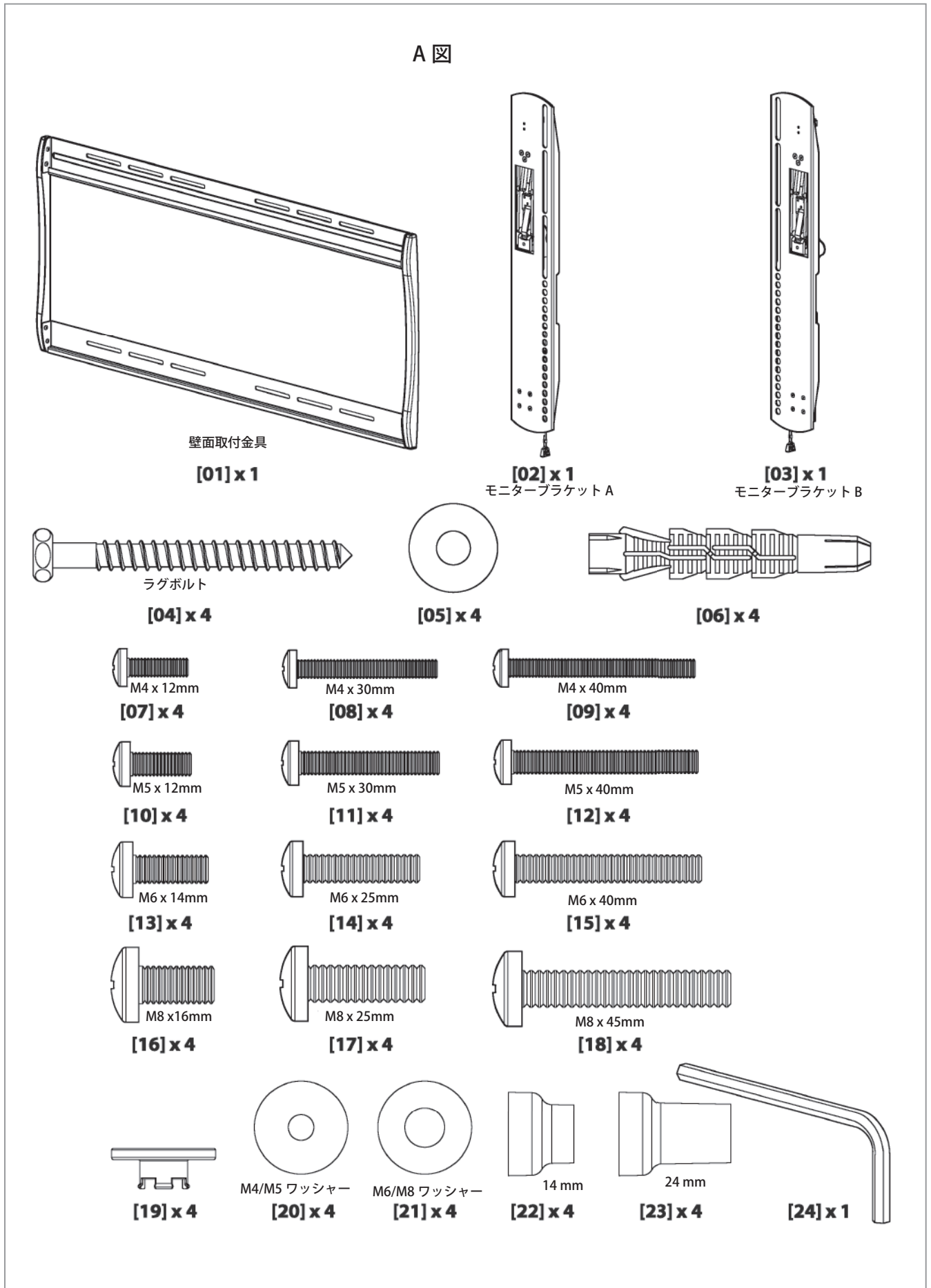
壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



ネットワークジャパン株式会社は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の障害や、物品の損傷に対して責任を負いません。

## 2. 部品一覧表

梱包を開梱し、組み立てる前に次のA図の部品の現品の形や数量を、確認しておいて下さい。



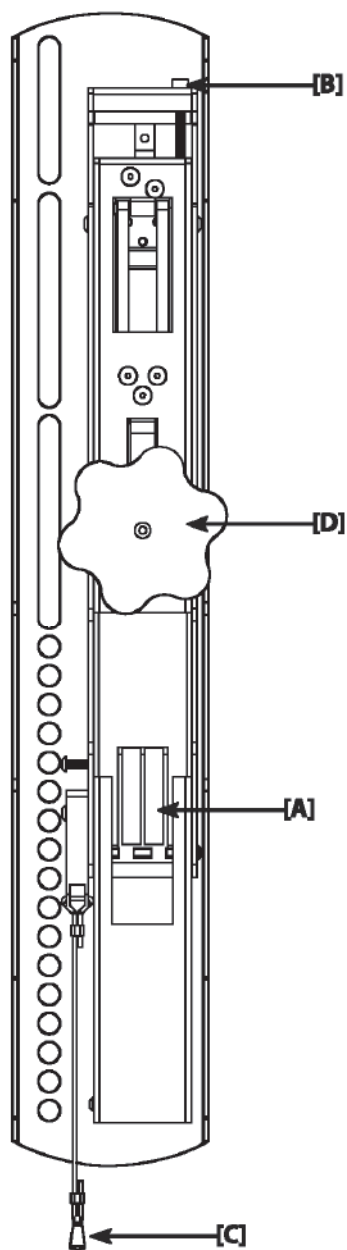
## モニターブラケットの各部の名称と機能

[A] クリックスタンド click stand

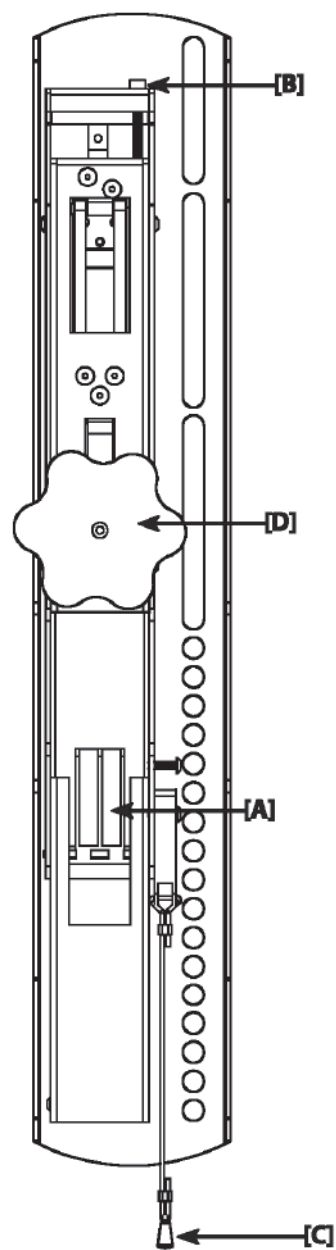
[B] 水平調整ネジ (pro set)

[C] リリースコード release cord

[D] 視野角 (TILT) 設定つまみ



(1図)



(2図)

B 図

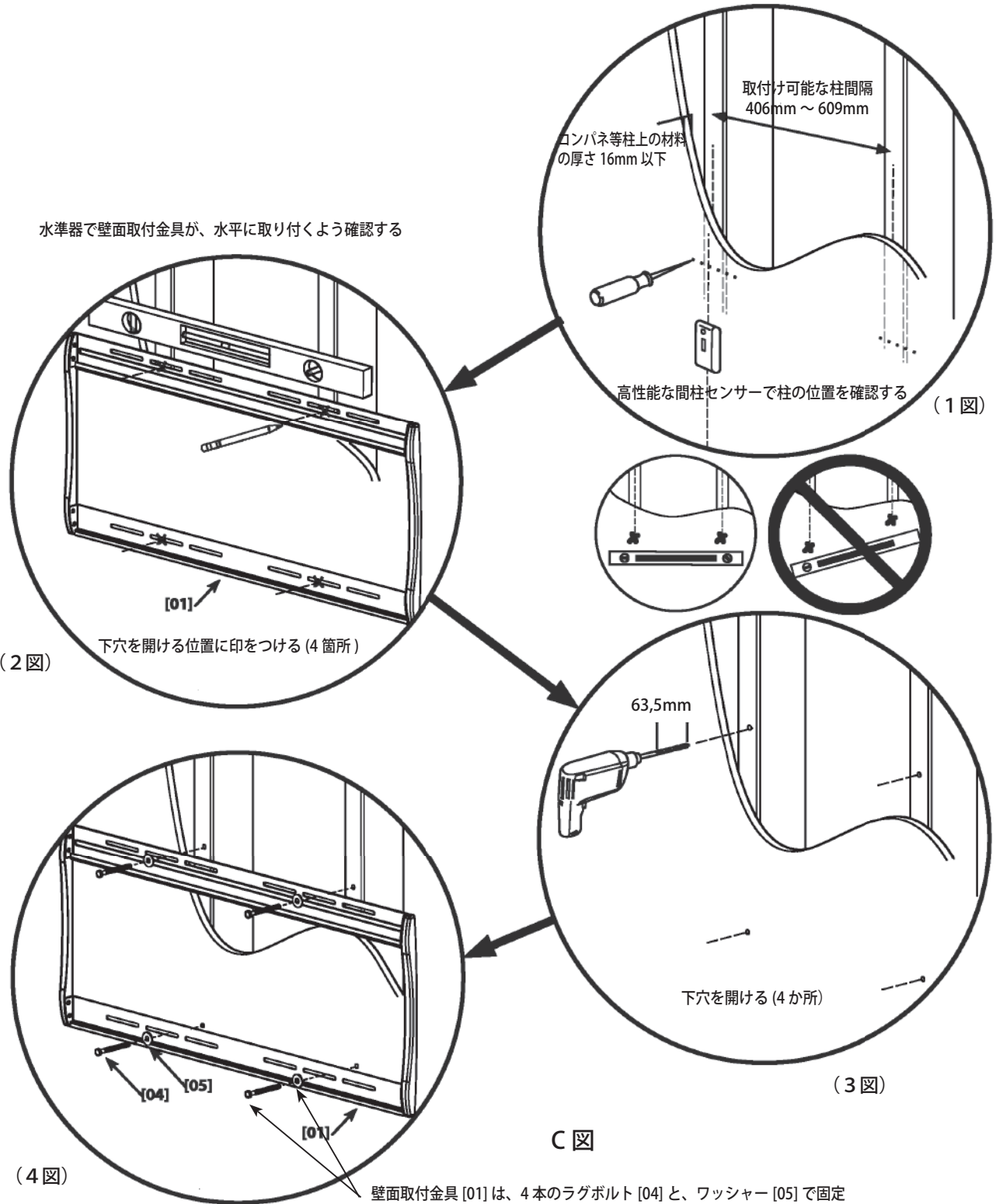
### 3 組み立てかた

#### 1 壁面取付金具の木柱製の壁面への取り付け



壁面取付金具を取り付ける壁面は、最大 68kg の薄型テレビの 5 倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが、専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

- (1) C 図のように、壁面取付金具 [01] は、2 本の木柱の上に、4 本のラグボルト [04] と、ワッシャー [05] で固定します。
- (2) ラグボルト [04] は、締め付けすぎないようにしてください。  
ラグボルト [04] の締め付け加減は、ワッシャー [05] が、壁面取付金具に引っ張り込まれる感じです。
- (3) 壁面の上を覆っている材料は、16mm 以下にしてください。又、壁面取付金具は、コンセントの近傍の位置を避けてください。



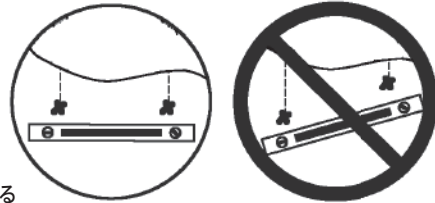
## 2 壁面取付金具のコンクリート壁面への取り付け



禁止

壁面取付金具を取り付ける壁面は、最大 68kg の薄型テレビの 5 倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが、専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。下記の「コンクリート壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

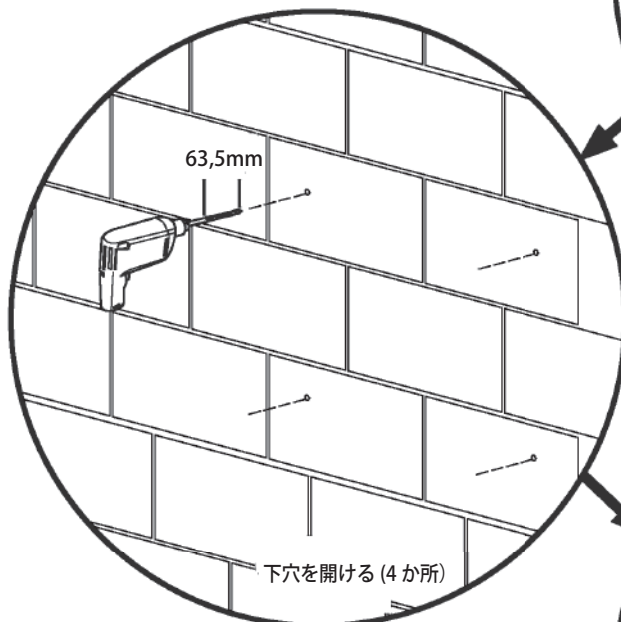
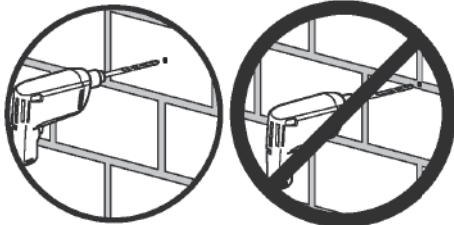
- (1) D 図のように、壁面取付金具 [01] は、4 本のコンクリートアンカー [06] と、4 本のラグボルト [04] と、ワッシャー [05] で固定します。
- (2) 壁面取付金具を型紙代わりにして、壁面に 4 箇所取付穴位置に印を付けます。(1 図)  
なお、コンクリートブロック壁の場合は、ブロック上に取り付けます。
- (3) コンクリートアンカー [06] を打ち込むために、63.5mm の下穴を 4 箇所開けます。(2 図)
- (4) コンクリートアンカー [06] を打ち込んだ上に、取り付けるラグボルト [04] は、締め付けすぎないようにしてください。ラグボルト [04] の締め付け加減は、ワッシャー [05] が、壁面取付金具に引っ張り込まれる感じです。
- (5) 壁面の上を覆っている材料は、16mm 以下にしてください。又、壁面取付金具は、コンセントの近傍の位置を避けてください。



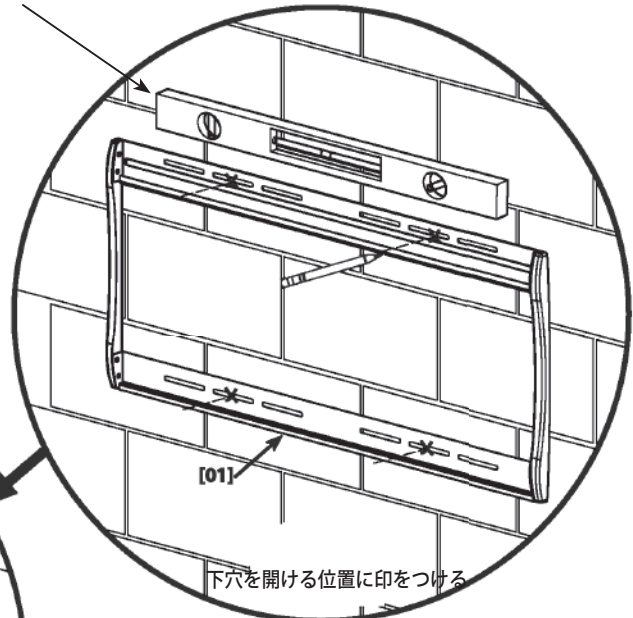
水準器で壁面取付金具が、水平に取り付くよう確認する

(正しい取付場所)

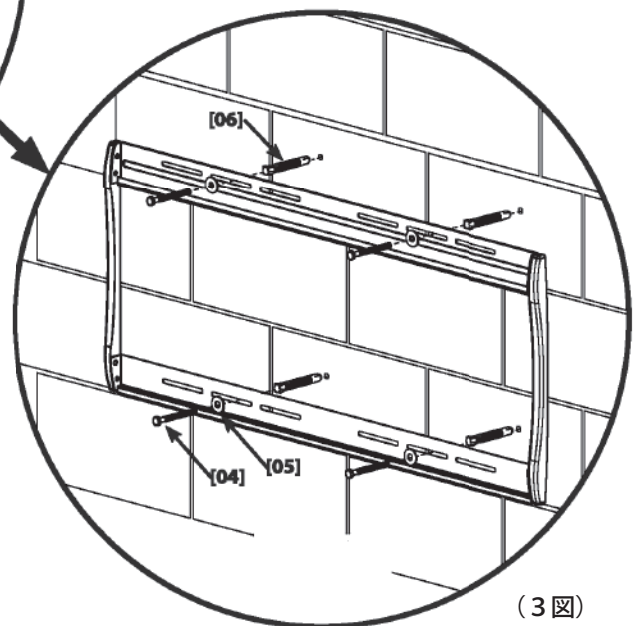
(誤り)



(2 図)



(1 図)



(3 図)

D 図

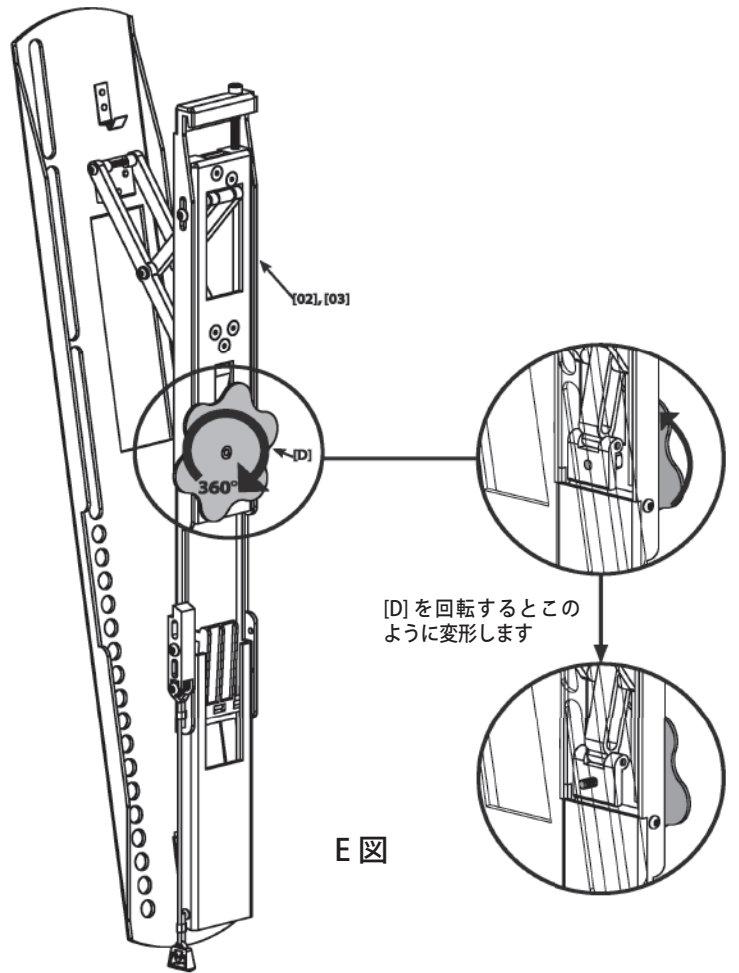


### 3 視野角調整用の準備作業と、モニターブラケット取付時の注意

#### A 視野角調整用の準備作業

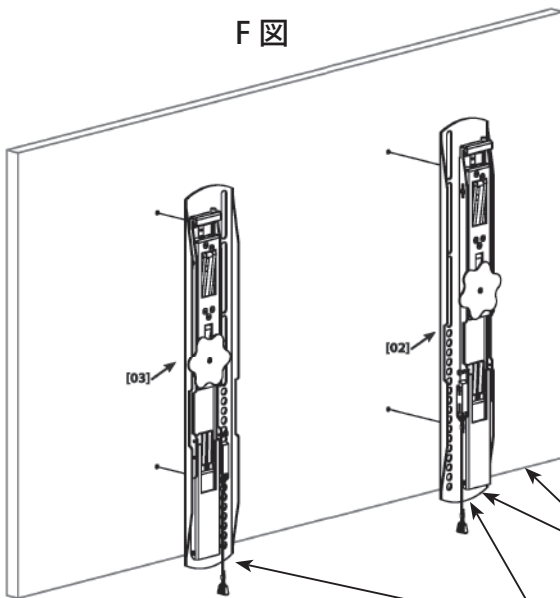
VLT15 の壁掛け金具は、ご使用の薄型テレビの厚みに応じて、最適な視野角が得られるように造られています。

- (1) 先ずご使用の薄型テレビの厚み（奥行き）を調べます。
- (2) 厚みが 50mm 以上の場合は、準備作業が不要なので、下記の「B モニターブラケット取付時の注意事項」に進みます。
- (3) 厚みが 50mm 以下の場合は、視野角のセッティングが必要なので次の（4）項に従って作業して下さい。
- (4) モニターブラケット [02 及び 03] に取り付けてある調整つまみ [D] を 5 回転、E 図の様に回転させます。廻している時に抵抗感が出れば、回転はその位置で止めます。
- (5) 薄型テレビをバランスよく使うために、モニターブラケット A[02] と、モニターブラケット B[03] の各つまみ「D」の回転数は、同一にします。これが完了すれば次の「B モニターブラケット取付時の注意事項」に進みます。



E 図

F 図

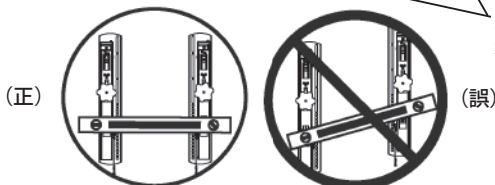


#### B モニターブラケット取付時の注意事項

- (1) F 図は、薄型テレビへのモニターブラケットの標準的な取付状態を示します。モニターブラケット A[02] は、F 図の様に薄型テレビ背面の右側に、又モニターブラケット B[03] は左側に各々配置します。
- (2) モニターブラケット A[02]、及びモニターブラケット B[03] の取付位置は、後述する適切な視野角可変動作をスムーズに行う為に、**ブラケットの底面と薄型テレビの底面を揃えます。**
- (3) モニターブラケット A[02] と、モニターブラケット B[03] は、正しく水平となるように取り付けます。

モニターブラケットの底面と薄型テレビの底面は揃える

二つのモニターブラケットは水平に配置する



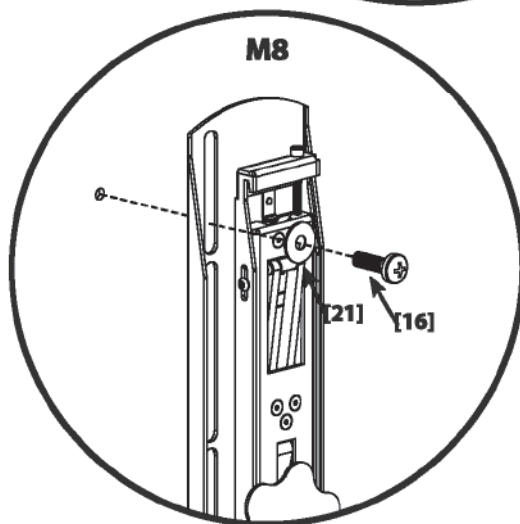
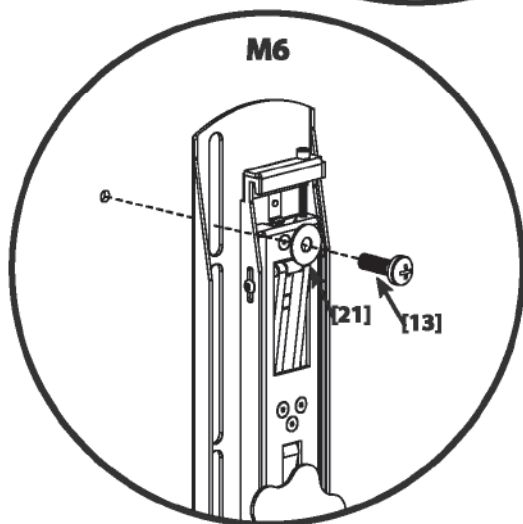
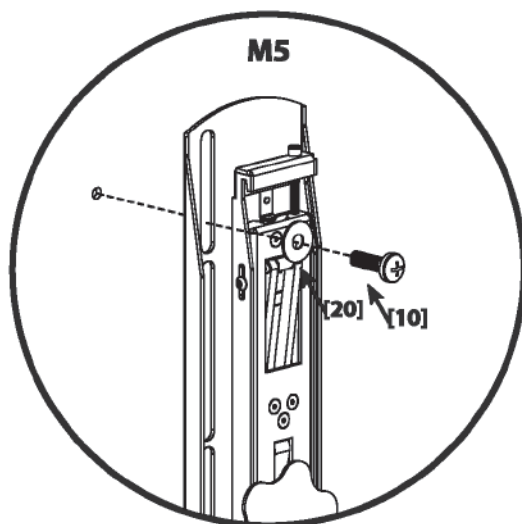
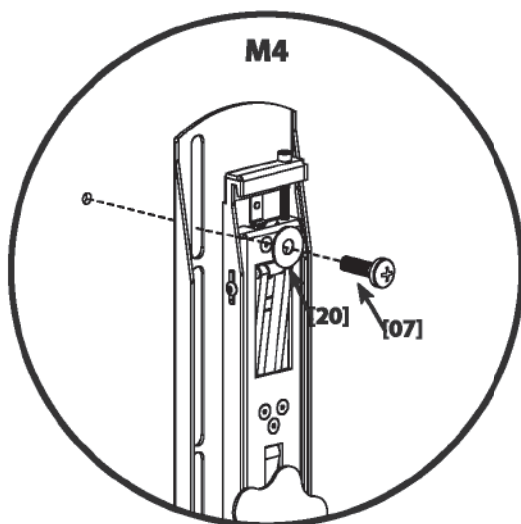
薄型テレビ背面の形状に従って、次の 3 つの方法から最適な手順を選択して下さい。

- (1) 背面の形状が平坦な場合は、手順 4 の「背面が平坦な薄型テレビへのブラケット取付」に進んでください。（8 ページ）
- (2) 背面が平坦でない場合は、手順 5 又は 6 の「背面が曲がっていたり、障害物や窪みのある薄型テレビへのブラケット取付」に進んでください。手順 5 と 6 の相違は、背面の曲がり具合や障害物の高さにより、取付ネジの長さやスペーサーの長さを合わせる必要がありますので、ご使用の薄型テレビの背面の形状によって選択してください。（9 ページ又は 10 ページ）

## 4 背面が平坦な薄型テレビへのブラケット取付

薄型テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を、確認して下さい。

- (1) 薄型テレビを壁等のしっかりした場所で、且つテレビのガラス面にキズが付かない場所に置きます。
- (2) 薄型テレビの背面に取り付けるモニターブラケット A[02]、及びモニターブラケット B[03] の位置と、その適合するネジ穴の口径を、手で緩くねじ込んで調べます。  
ネジ長が長すぎると、薄型テレビの内部の部品を破損する恐れがあるので、注意して下さい。
- (3) ネジ口径が M4 ネジの場合は M4 に、M5 ネジの場合は M5 に、M6 ネジの場合は M6 に、M8 ネジの場合は M8 の各々の図に示す、ネジ、ワッシャーを各々2こづつ使って、薄型テレビにモニターブラケットをしっかりと取り付けます。
- (4) もし、薄型テレビの背面が平坦でも、ケーブル類を通したり、部分的に窪みや突起物がある場合は、次項の5や6のようにスペーサーを使う方法を参照して下さい。
- (5) モニターブラケット A[02]、及びモニターブラケット B[03] の取付位置は、ブラケットの底面と薄型テレビの底面を揃えます。又、二つのモニターブラケットは、薄型テレビの左右の中央で、水平に配置します。



G 図

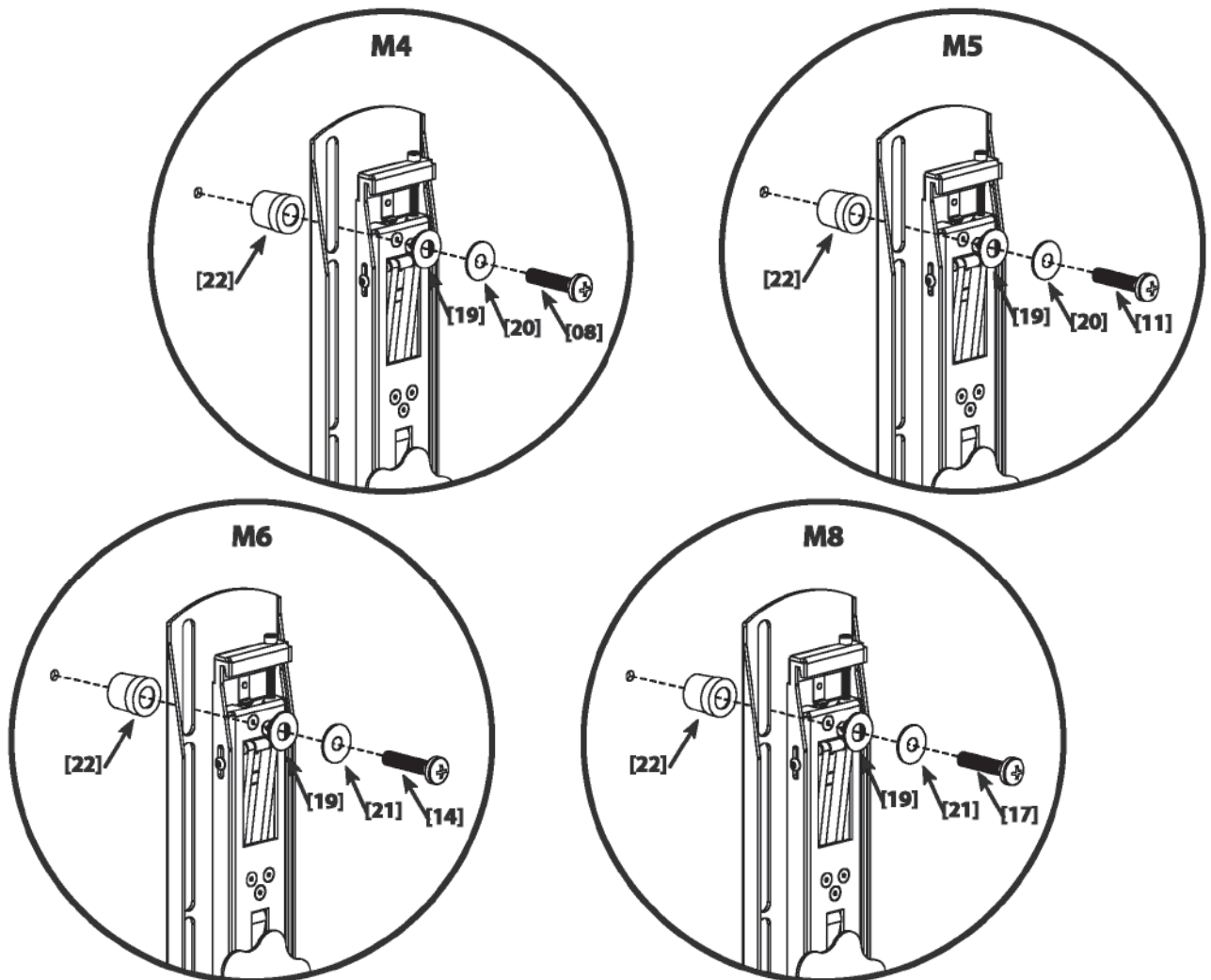


## 5 背面が曲がっていたり、障害物や窪みのある薄型テレビへのブラケット取付 ----- 「曲がり小さい場合」

- 注意：1. 薄型テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を、確認して下さい。  
 2. ネジの長さは、必要最小限にして下さい。長すぎる場合はテレビの内部の部品を破損する恐れがあります。

背面の曲がり具合や障害物や窪みの比較的小さい場合は、下図の H 図に従って、短めのネジ及びスペーサーを使って取り付けます。  
 背面の曲がり具合や障害物や窪みの比較的大きい場合は、10 ページの I 図に従って、長めのネジ及びスペーサーを使って取り付けます。

- (1) 薄型テレビを壁等のしっかりした場所で、且つテレビのガラス面にキズが付かない場所に置きます。
- (2) 薄型テレビの背面に取り付けるモニターブラケット A[02]、及びモニターブラケット B[03] の位置と、その適合するネジ穴の口径を、手で緩くねじ込んで調べます。
- (3) ネジ口径が M4 ネジの場合は M4 に、M5 ネジの場合は M5 に、M6 ネジの場合は M6 に、M8 ネジの場合は M8 の各々の図に示す、ネジ、ワッシャー、及びスペーサーを各々 4 コづつ使って、薄型テレビにモニターブラケットをしっかりと取り付けます。  
 ネジやスペーサーは、曲がり具合、障害物、窪みの量から判断して、最短の長さの物を使って下さい。  
 長すぎると、薄型テレビの内部の部品を破損する恐れがあるので、注意して下さい。
- (4) モニターブラケット A[02]、及びモニターブラケット B[03] の取付位置は、ブラケットの底面と薄型テレビの底面を揃えます。  
 又、二つのモニターブラケットは、薄型テレビの左右の中央で、水平に配置します。



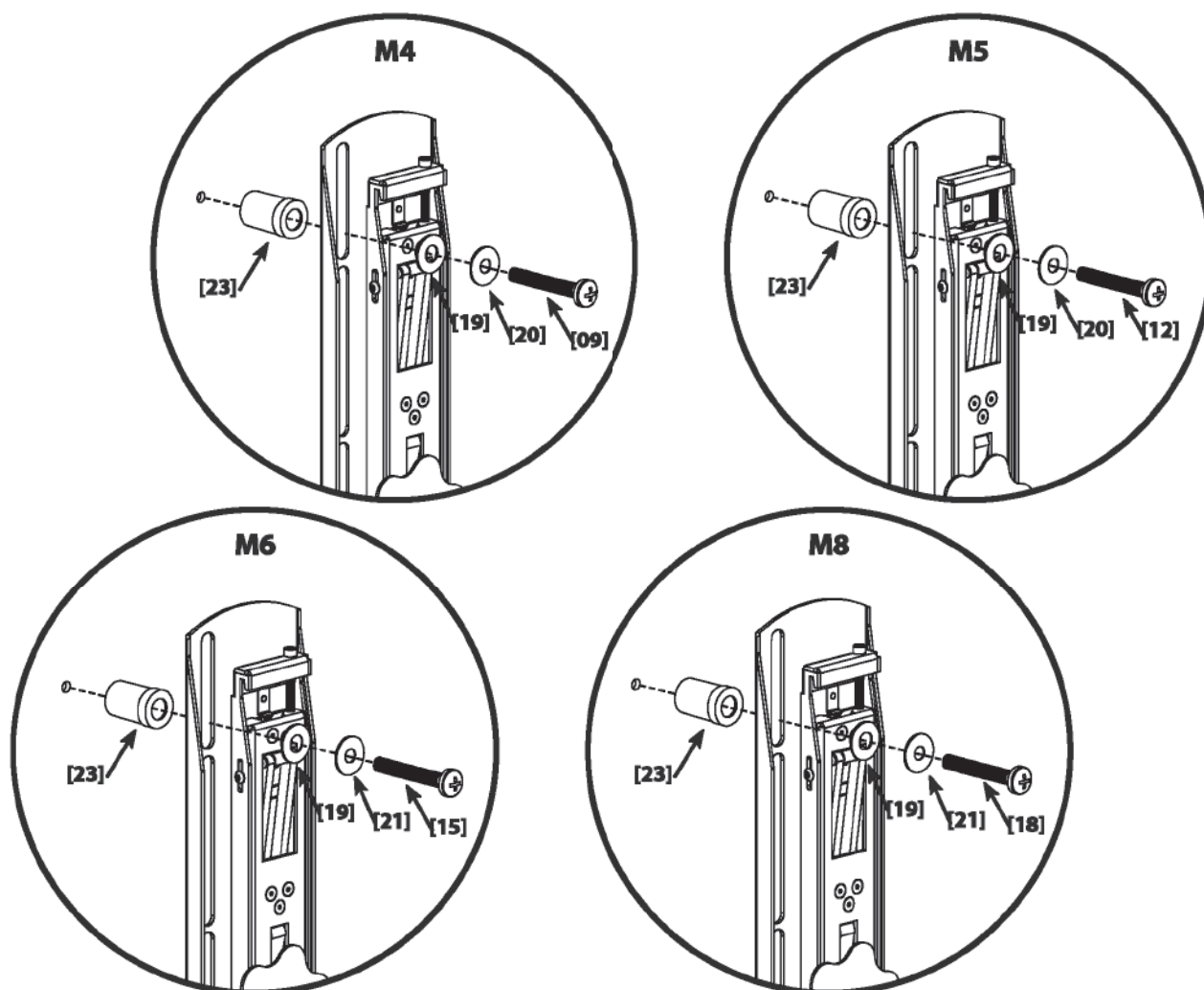
H 図

## 6 背面が曲がっていたり、障害物や窪みのある薄型テレビへのブラケット取付-----「曲がり大きい場合」

- 注意：1. 薄型テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を、確認して下さい。  
2. ネジの長さは、必要最小限にして下さい。長すぎる場合はテレビの内部の部品を破損する恐れがあります。

背面の曲がり具合や障害物や窪みの比較的大きい場合は、下図の I 図に従って、長めのネジ及びスペーサーを使って取り付けます。  
背面の曲がり具合や障害物や窪みの比較的小さい場合は、9 ページの H 図に従って、短めのネジ及びスペーサーを使って取り付けます。

- (1) 薄型テレビを壁等のしっかりした場所で、且つテレビのガラス面にキズが付かない場所に置きます。
- (2) 薄型テレビの背面に取り付けるモニターブラケット A[02]、及びモニターブラケット B[03] の位置と、その適合するネジ穴の口径を、手で緩くねじ込んで調べます。  
ネジ長が長すぎると、薄型テレビの内部の部品を破損する恐れがあるので、注意して下さい。
- (3) ネジ口径が M4 ネジの場合は M4 に、M5 ネジの場合は M5 に、M6 ネジの場合は M6 に、M8 ネジの場合は M8 の各々の図に示す、ネジ、ワッシャー、及びスペーサーを各々 4 コづつ使って、薄型テレビにモニターブラケットをしっかりと取り付けます。  
ネジやスペーサーは、曲がり具合、障害物、窪みの量から判断して、最短の長さの物を使って下さい。  
長すぎると、薄型テレビの内部の部品を破損する恐れがあるので、注意して下さい。
- (4) モニターブラケット A[02]、及びモニターブラケット B[03] の取付位置は、ブラケットの底面と薄型テレビの底面を揃えます。  
又、二つのモニターブラケットは、薄型テレビの左右の中央で、水平に配置します。



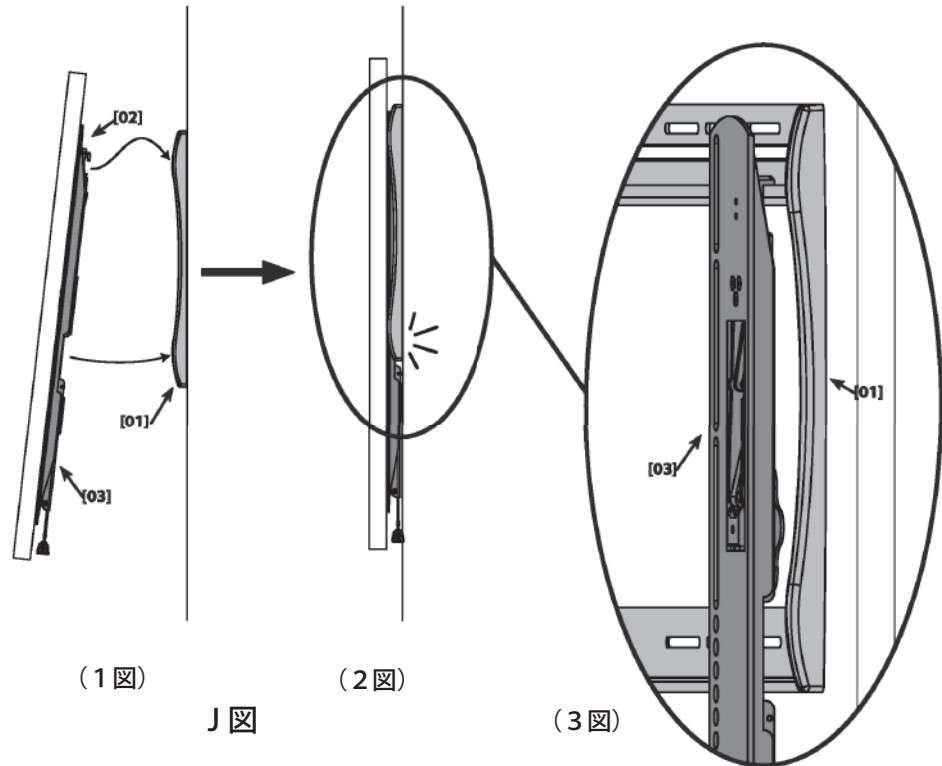
I 図

## 7 薄型テレビを壁面取付金具に取り付ける



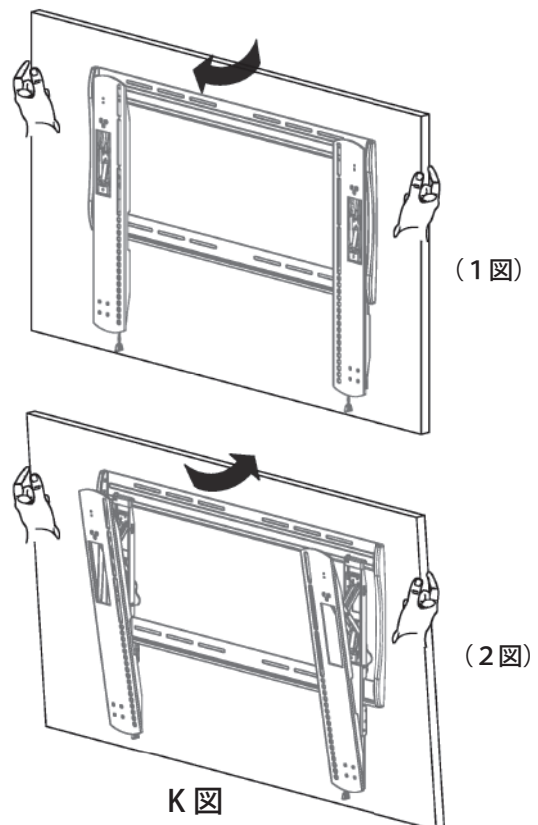
注意：この項の取り付け作業は、重量があるので必ず大人二人で行って下さい。

- (1) (1図) に示すように、薄型テレビに取り付けたモニターブラケット A[02]、及びモニターブラケット B[03] の上部を、壁面取付金具 [01] に上から引っかける要領で取り付けます。
- (2) 次にモニターブラケット A 及び B の下側を (2図) のように壁面取付金具に押しつけて取り付けます。
- (3) (3図) 取付状況を見やすい角度で示しています。



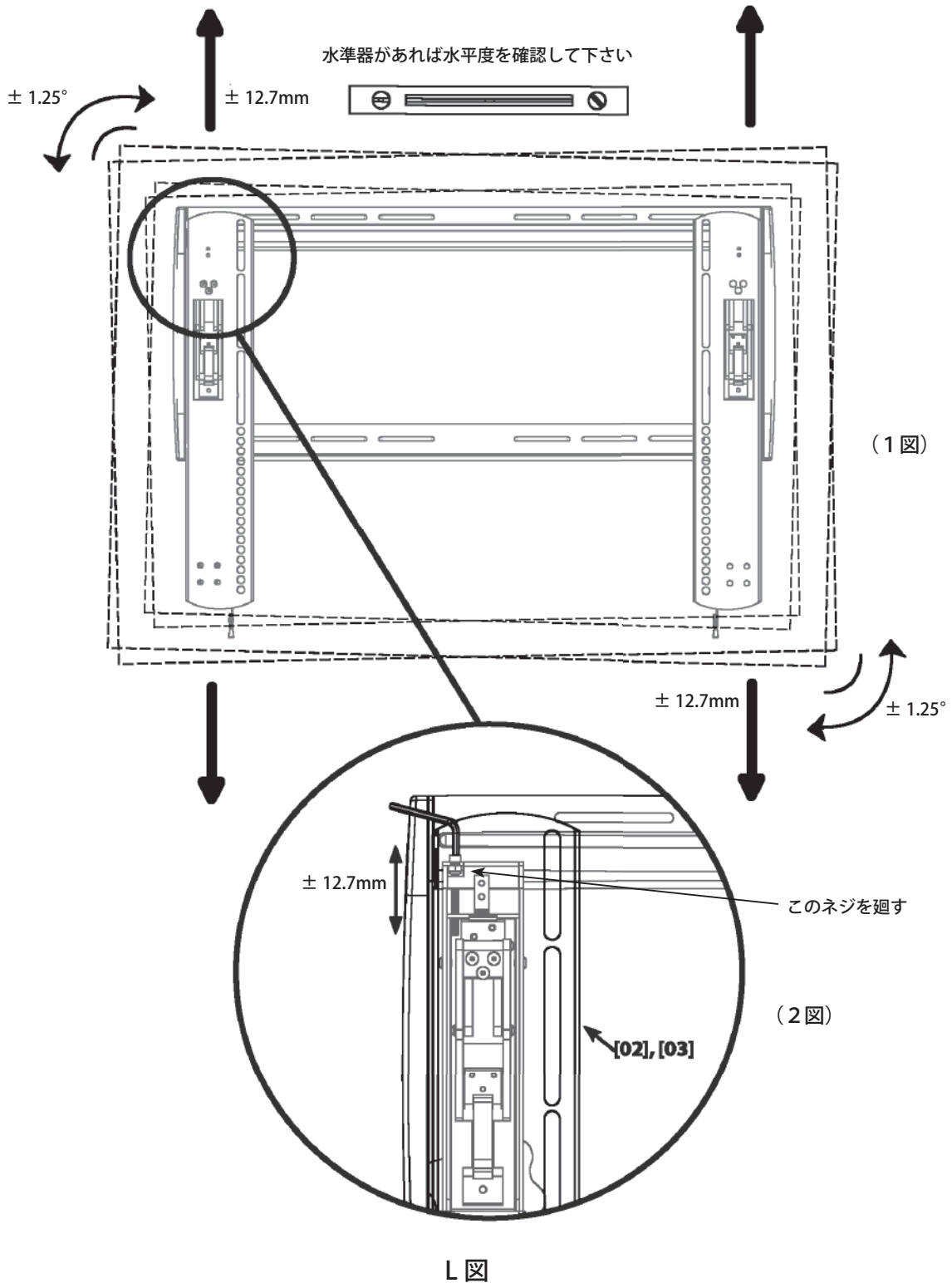
## 8 視野角 (TILT) の設定

- (1) (1図) に示すように、薄型テレビを矢印の方向に動かして、ご希望の視野角 (TILT) に合わせます。
- (2) 薄型テレビを元の壁面に密着させるには、(2図) の矢印の方向にテレビを動かします。



## 9 水平調整

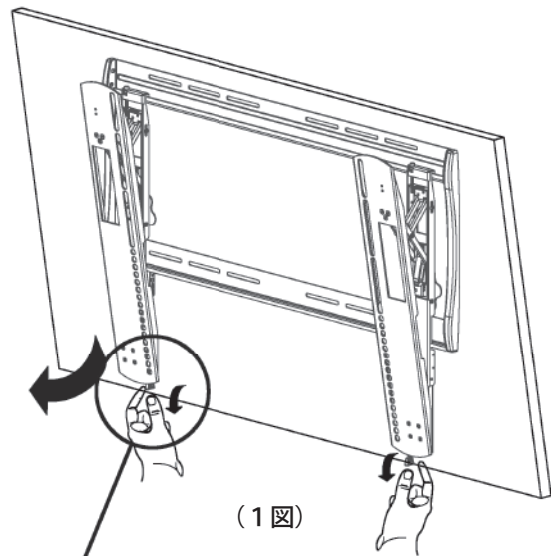
- (1) 薄型テレビの水平度は、モニターブラケットに取り付いているネジを廻して調整します。  
調整用のネジの取付場所は、(1図)に示すモニターブラケット A、及びモニターブラケット B の上部にあります。  
詳細は、(2図)に示す位置のネジを六角レンチで締めたり、緩めたりして水平調整します。
- (2) 例えば、モニターブラケット A を時計方向に廻して、モニターブラケット B を反時計方向に回すと最大の水平の傾き調整が可能となります。



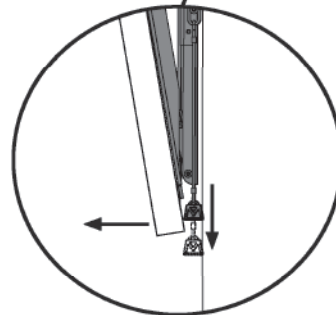
## 10 ケーブル類の管理

- (1) 薄型テレビへの電源コードやアンテナケーブル類や、HDMI ケーブル等のオーディオ・ビデオケーブル類を接続する場合は、次の手順で作業して下さい。
- (2) (1図) に示すように、モニターブラケット A、及び B の最下部に取り付けてあるリリースコードを下方向に引きます。
- (3) (2図) はリリースコードを引く前の状態です。
- (4) リリースコードを引いて (3図) のように、モニターブラケットの裏側にあるスタンドを立ち上げて、壁面と薄型テレビの間に衝立の役目をさせ、空間を設けます。
- (5) この空間を活用して、ケーブル類の接続をして下さい。

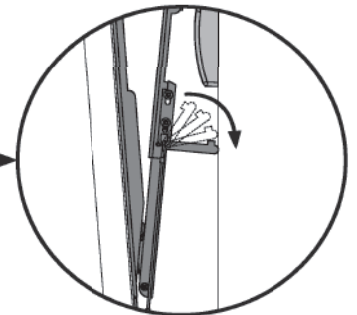
**注意：**スタンドが立ち上がった状態ではテレビは固定されてないので、不安定です。この工程は、二人で作業する事を推奨します。



(1図)

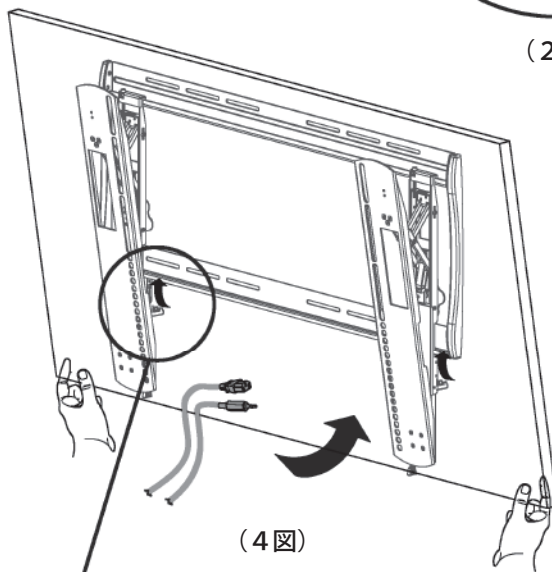


(2図)



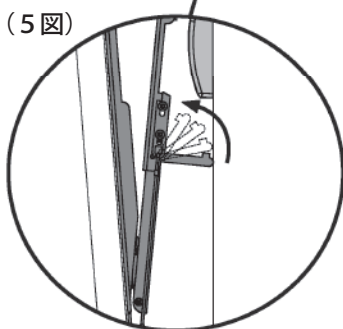
(3図)

M 図

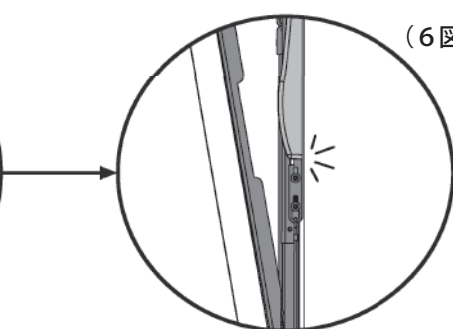


(4図)

- (1) ケーブル類の接続が完了すれば、(4図) の薄型テレビを手で支えながら、スタンドを上方向に押してから、薄型テレビを静かに壁面の方向に押しします。(4図) (5図)
- (2) (6図) は、スタンドが収納されて、安定した元の状態です。



(5図)



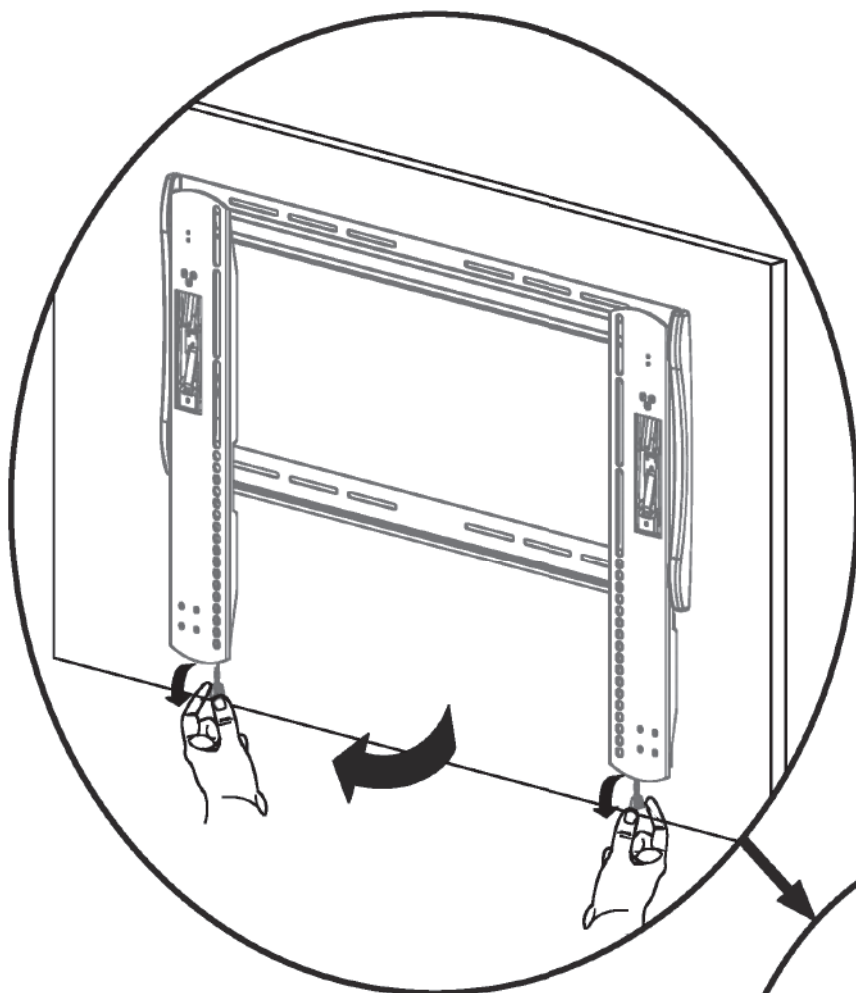
(6図)

## 4 薄型テレビを壁掛け金具から取り外す方法

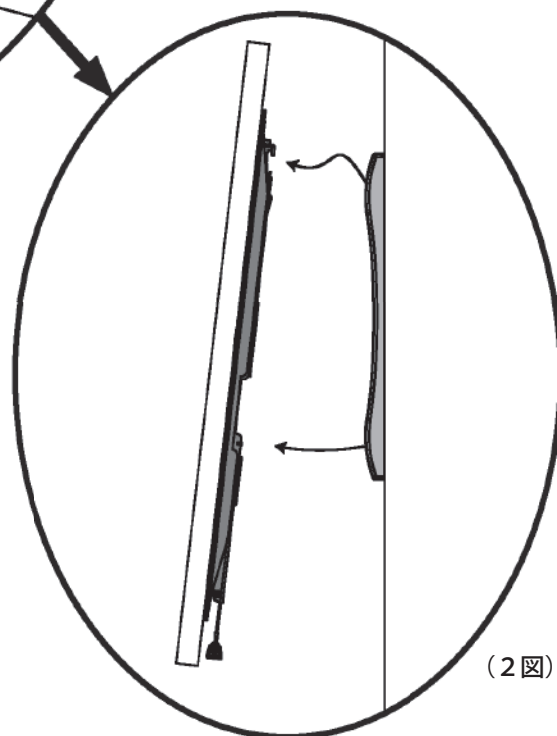


注意：この項の取り外し作業は、重量があるので必ず大人二人で行って下さい。

- (1) 薄型テレビを壁面取付金具から取り外すには、モニターブラケット A、及びモニターブラケット B のリリースコードを下方向に引きます。(1 図) この状態で、薄型テレビを上方向に持ち上げて、壁面取付金具から分離します。(2 図)
- (2) 以上で取り外しは完了です。



(1 図)



(2 図)

N 図



## 5 トラブルシューティング

薄型テレビの視野角調整（設定）がうまく動作しない場合は、下記の次項を実施して下さい。

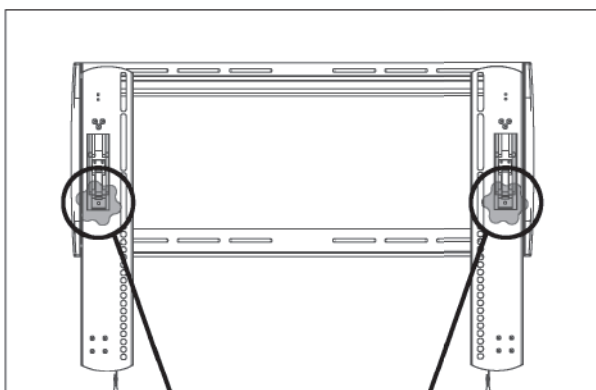
- (1) 視野角のセッティングの調節を行うには、10項のケーブル類の整理で記載のように、リリースコードを引いてスタンドが立ち上がった状態にします。
- (2) 視野角のセッティング調整が完了したら、10項に記載のスタンドを収納して、安定した状態に戻して下さい。

### A 薄型テレビは、壁面から傾斜させる事が容易に出来るが、壁面の方向に押し戻すことが困難な場合

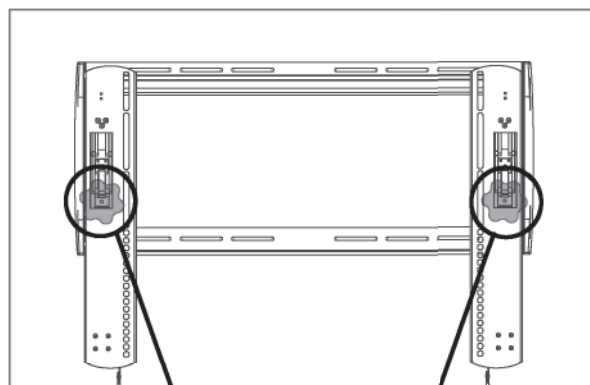
モニターブラケット A、及びモニターブラケット B の視野角設定つまみ [D] を、最適な視野角調整の動作が得られるまで、同時に同じ回転数だけ時計方向に廻して、視野角セッティングを行う。(1図)(2図)

### B 薄型テレビは、壁面から傾斜させる事が難しいが、壁面の方向に容易に押し戻すことが出来る場合

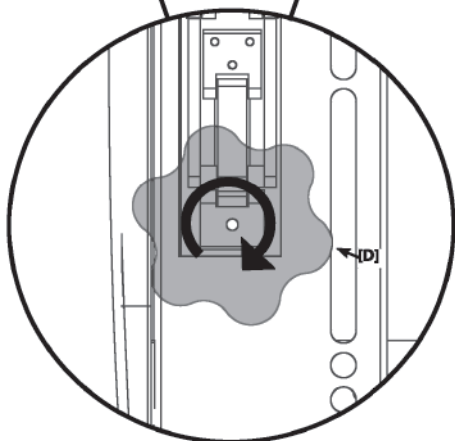
モニターブラケット A、及びモニターブラケット B の視野角設定つまみ [D] を、最適な視野角調整の動作が得られるまで、同時に同じ回転数だけ反時計方向に廻して、視野角セッティングを行う。(3図)(4図)



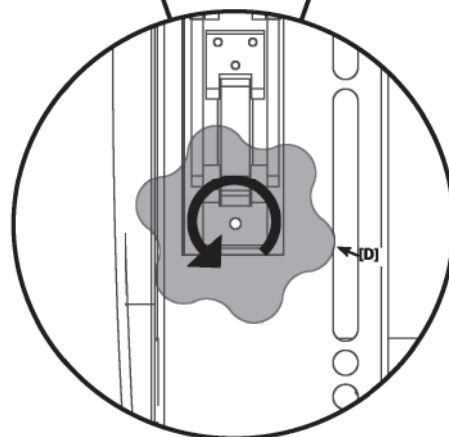
(1図)



(3図)



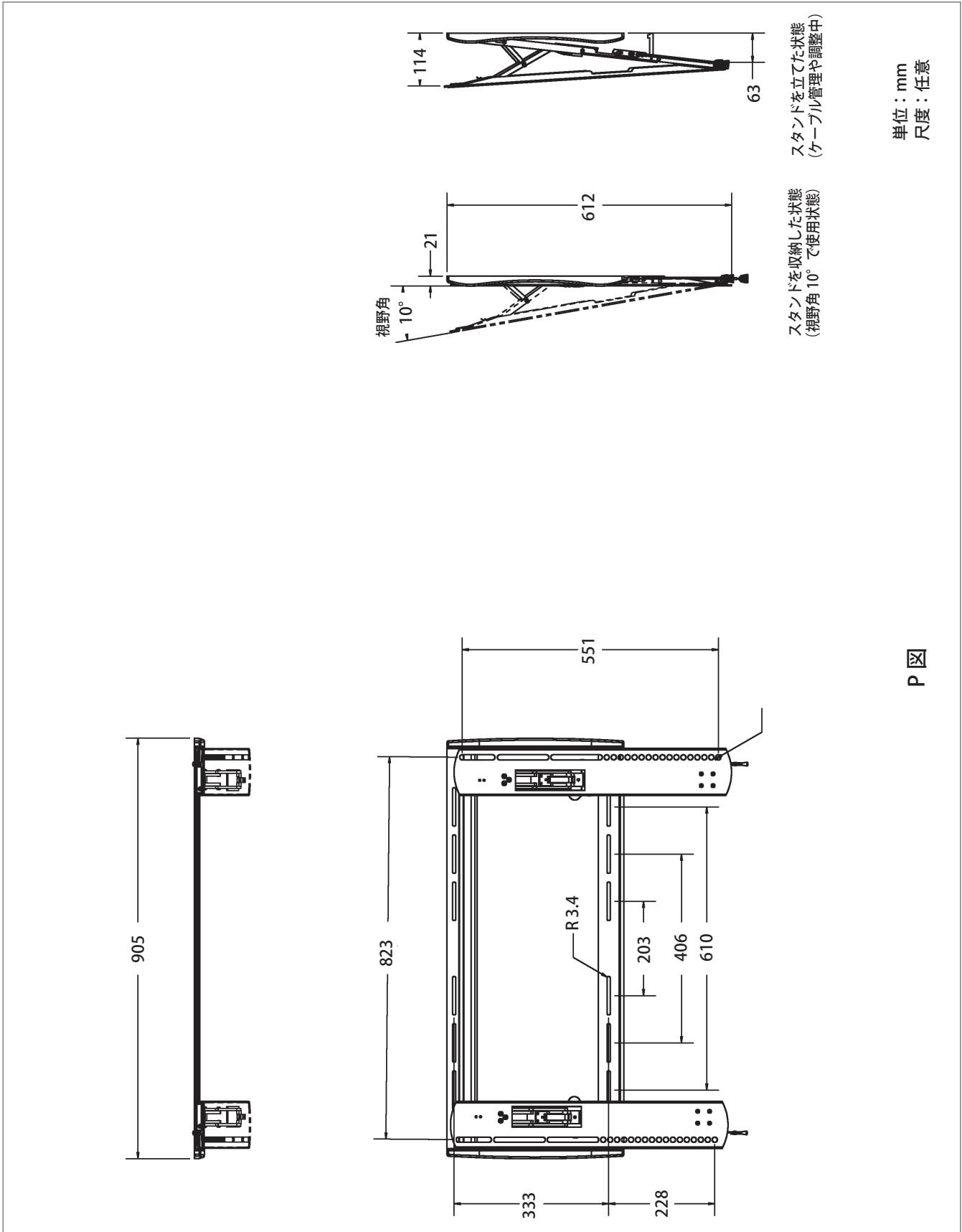
(2図)



(4図)

0図

## 6. VLT15 外観図



Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

# NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ

〒559-0031 大阪市住之江区南港東1丁目2-16

ネットワークジャパン株式会社 TEL: 06-6612-2008 FAX: 06-6612-2050

<http://www.network-jpn.com/> E-mail: [info@network-jpn.com](mailto:info@network-jpn.com)